

婚姻届

婚姻届の記載例

窓口へ提出する日を記入
(届出日が婚姻日)

住所

- 婚姻届と同時に住所変更し、平日開庁時間内に届出の場合は、新しい住所を記入
- 休日・夜間窓口は、住所変更の受付ができないので、後日住民異動届の手続きが必要
- 転入は、転出証明書が必要

証人

成人2名の証人が必要

※証人は成人に達している人が2名必要です。

婚姻後の夫婦の氏

婚姻後にどちらの氏を称するか選択し、をつけてください

夫の氏の場合
 夫の氏
 妻の氏

妻の氏の場合
 夫の氏
 妻の氏

令和 〇 年 5 月 10 日届出	付 令和 〇 年 〇 月 〇 日	香川県高松市長
第 〇 号	第 〇 号	第 〇 号
書類調査	戸籍記載	記載調査
調査票	附 票	住民票

氏名 (よみかた)	夫になる人	妻になる人
	たかまつ 太郎 高松 太郎	かがわ はなこ 香川 花子
生年月日	昭和 10 年 12 月 24 日	昭和 11 年 1 月 10 日
住所 (住民登録をしているところ)	香川県高松市番町1丁目 8番1-10号 松ハイツ	香川県高松市木太町 3480番地2
本籍 (外国人のときは国籍だけを書いてください)	京都府京都市北区北町 138番	香川県高松市木太町 3480番地2
筆頭者の氏名	高松 一郎	香川 太郎
父母及び養父母の氏名 父母との続柄	父 高松 二郎 続柄 母 高松 二子 二男	父 香川 太郎 続柄 母 番町 和子 長女
養父 養母	高松 一郎 続柄 高松 一子 養子	続柄 続柄
婚姻後の夫婦の氏・新しい本籍	<input checked="" type="checkbox"/> 夫の氏 香川県高松市円座町 1622番地2 <input type="checkbox"/> 妻の氏	
同居を始めたとき	<input checked="" type="checkbox"/> 令和 5 年 5 月 (結婚式をあげたとき、または、同居を始めたときのうち早いほうを書いてください) <input type="checkbox"/> 結婚式も同居もしていない	
初婚・再婚の別	<input checked="" type="checkbox"/> 初婚 再婚 (<input type="checkbox"/> 死別 昭和 年 月 日) <input type="checkbox"/> 離別 令和 年 月 日)	
同居を始める前のそれぞれの世帯のおもな仕事と	1. 農業だけまたは農業とその他の仕事を持っている世帯 2. 自由業・商工業・サービス業等を個人で経営している世帯 3. 企業・個人商店等(官公庁は除く)の常用勤労者世帯で勤め先の従業者数が1人から99人までの世帯(日々または1年未満の契約の雇用者は5) 4. 3にあってはまらない常用勤労者世帯及び会社団体の役員の世界帯(日々または1年未満の契約の雇用者は5) 5. 1から4にあてはまらないその他の仕事をしている者のいる世帯 6. 仕事をしている者のいない世帯	
夫妻の職業	(国勢調査の年…令和 年…の4月1日から翌年3月31日までに届出をするときだけ書いてください) 夫の職業 妻の職業	
届出人署名	夫 高松 太郎 (高松印)	妻 香川 花子 (印)

署名 (※押印は任意)	三木 三郎 (三木印)	三木 三子 印
生年月日	昭和 15 年 12 月 24 日	昭和 30 年 3 月 3 日
住所	香川県高松市紺屋町 10番地4	香川県高松市紺屋町 10番地4
本籍	香川県高松市紺屋町 10番地4	香川県高松市紺屋町 10番地4

「筆頭者の氏名」には、戸籍のはじめに記載されている人の氏名を書いてください。

新本籍

- 選択した氏の方が既に筆頭者の場合は、新本籍は記載不要
- 新本籍は、実在する土地の地番(番地)又は住居表示の街区符号の番号(番)までです。(何号やマンション名は含みません。)

夫妻の職業

※国勢調査の年度のみ記入
別紙「職業例示表」を参照し、番号又は職業分類名を記入

署名は必ず本人が氏名を自署してください。
※本人が確認できるもの(運転免許証など)をご持参ください。
※住所の変更については別途手続きしていただく必要があります。
※未成年者の婚姻は父母の同意が必要です。

連絡先 昼間連絡がとれる電話番号を記入

連絡先 電話番号 080 1111 1111

届出人

署名は必ず本人が婚姻前の氏名を自署してください(押印は任意)

※昼間連絡のとれる電話番号を必ず記入してください。